

# 真光苑だより

暑さ寒さも彼岸までといいますが、10月に入っても全国各地で真夏日が記録され、山野に錦繡の秋が訪れるのはいつのことやらといった日々が続きます。真光苑でも秋のお彼岸の法要が9月20日に行われ、約30名の方が参拝されました。市の天然記念物に指定されている真光寺の大銀杏も、台風の名残の強風で少し実を落としたものの、青空に大きく枝葉を広げ、そろそろ黄色の色を混ぜ合わせています。

また、苑内の五百仏浄苑を目指す石仏の安置も来春には百仏を超える運びとなりました。浄土真宗の根本のお経は「浄土三部経」ですが、その中の「仏説阿弥陀経」に「青色青光黄色黄光赤色赤光白色白光(ショウショウコウ、オウシキオウコウ、シャクシキシャッコウ、ビヤクシキビヤッコウ)」という一節があります。「どのような環境、どのような状況にあらうと、それぞれがそのままに輝いている」という意味ですが、真光苑では花も木も、それぞれにのびやかに咲き乱れ、そして、大小の仏様もそれぞれに穏やかな顔をされて、世の安穩を念じていらっしやいます。

豊穡の秋、清浄な空気のただよう真光苑へ、ぜひご自由にお立ち寄りください。



☎ 0120-211-017

〒409-1306 山梨県甲州市勝沼町山 1539 真光寺内 TEL&FAX:0553-44-0802  
真光苑 東京案内所 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-3-1 TEL:03-3723-1201